



ROTARY CLUB OF CHINO WEEKLY

Rotary CHINO



2015～2016年度国際ロータリーテーマ

茅野ロータリークラブ

創立1981. 1. 26

茅野ロータリークラブ活動指針

「みつめ直そう！ひとりひとりがロータリー」

2015 — 2016 会長 矢崎 敏臣 幹事 加藤 宏治

Vol.17 1639 2015.11.4

会長挨拶

本日はRI財団・米山奨学会委員会の担当例会ということで、本年8月29日のロータリー財団セミナーに行っていましたので、ご報告させていただきます。本日の例会内容と重複するかもしれませんが、グローバル補助金について、本年度の発足当時不明だった事項の説明をさせていただきます。

まず、私たちが寄附しているロータリー財団の基金は4つの事項に使用されます。まず①ポリオプラス、②ロータリー平和フェローシップ、③補助金(この中には地区補助金、グローバル補助金)、④ロータリー学友、の4つであります。

このうちグローバル補助金についてお話ししたいと思います。今、具体的な課題として、フィリピンに図書館を作りたいがロータリークラブで応援してくれないか、という要請が来ております。この様な場合に、ロータリー財団のグローバル補助金を使うかどうかの検討をする場合には、いくつかの要件があります。グローバル補助金は、戦略的な観点から大きな影響をもたらす、地区やクラブの活動に使用できる補助金です。要件としては、ロータリー財団がかける重点分野に該当すること、内容については後で申し上げます。もう1つは、持続可能かつ測定可能な成果をもたらすことでもあります。又、グローバル補助金の場合、プロジェクトの予算は最低30,000ドル(約360万円)以上である必要があります。この重点分野ですが、クラブ計画書を作成するときに、月間目標が例年と大きく異なっていました。9月は基本的教育と識字率向上月間、10月は経済と地域社会の発展月間、12月は疾病予防と治療月間、2月は平和と紛争予防、紛争解決月間、3月は水と衛生月間、4月は母子の健康月間の6項目であります。この月間目標と重点分野が一致します。この重点分野に該当しないとグローバル補助金はないということです。

以下重点分野ごとの事業について説明致します。

1. 平和と紛争予防/紛争解決

- ・紛争予防と仲裁に関する、若者(将来リーダーとなることが望まれる人)を対象とした研修の実施
- ・紛争地域における平和構築の支援

2. 疾病予防と治療

- ・地域社会の医療従事者の能力向上
- ・伝染病の伝播を食い止め、非伝染病とそれによる合併症を減らすための、疾病予防プログラム

3. 水と衛生

- ・地域社会における安全な水の公平な提供、衛生設備や衛生状況の改善
- ・持続可能な水設備と衛生設備の設置、資金調達、維持管理を地域住民が行っていくための能力向上

4. 母子の健康

- ・5歳未満の幼児の死亡率と罹患率の削減
- ・より多くの母子に対する基本的な医療サービスの提供、保健従事者を対象とした研修、保健ケアの提供

5. 基本的教育と識字率向上

- ・地域社会で基本的教育を普及し、識字能力を高めるためのプログラムを支援し、地域社会の参加を促進
- ・地域社会における成人識字率の向上

6. 経済と地域社会の発展

- ・貧困地域の経済発展を目的とした、起業家、地域社会のリーダー、地元団体を含む地域ネットワークの向上
- ・雇用創出

次に2つ目の要件である持続可能性ですが、ロータリー財団では、「補助金がすべて使用された後にも、地域社会の継続的ニーズを満たすために、プロジェクトもたらした影響を長期的に持続できること」と定義しています。

最後になりますが、グローバル補助金の活動は、2つのクラブ又は地区が提唱し、活動を実施する国・地域にあるクラブ、又は地区、その地域にクラブがない場合だと思えますが、実施国・地域外にあるクラブ、又は地区が提唱者となる必要の様です。

現在、前記案件について、地区で検討をしている様に聞いておりますので、進捗状況について又、ご報告させていただきます。

以上、会長挨拶とさせていただきます。

幹事報告

※別紙幹事報告書

先日の夜間例会ゲスト矢崎清太郎様からお礼状が届きました

内規第2条第1節による指名委員長から指名委員の委嘱がありました。

お誕生日おめでとう!

11月誕生日

土橋善蔵会員
浜整之介会員
藤森千恵会員
田中淳喜会員
加藤宏治会員



卓話

ロータリー財団・米山奨学会委員会
宮坂貴代治 委員長



今月は「ロータリー財団・米山奨学会月間」ということで、その仕組みを簡単に分かり易く説明した。「11月はその寄付をお願いする月になっているので、金額を聞かないのでは是非寄付をお願いしたい。11月18日から受け付ける。」と協力要請がありました。



米山奨学生 王明宇 さん

王明宇さんは、中国山東省煙台市出身、1989年生まれで26歳。現在諏訪東京理科大学の工学・マネジメント研究科修士2年生。専攻は「環境に関する環境情報ネットワーク(SNS)の構築」。家族は3人、「一人っ子」である。

山東省煙台市は、山東半島東部に位置する港湾都市、渤海湾に面し、山東省最大の漁港、産業都市としても急発展していて、現在は環境のよさ、景観のよさが中国でも指折りとして評価されていて、全中国から人が集まっている。「経済は山東省に及ばないが、景観は大連に負けない。」とのこと。

大連市と煙台市との間に「海底トンネル」建設計画があり、1400キロに及ぶ自動車での移動、もしくはフェリーで8時間かかっているが、海底トンネルの完成により移動時間は30分に短縮できるという。2017年に工事が始まるとのこと。完成すれば、現在世界最長である日本の青函トンネルの2倍超となるらしい。

食べ物は、「ニラとユムシの炒め物」がお勧めだそう。ユムシはナマコみたいなもので、韓国通の人は韓国で食べたことがあるようだ。

日本に来た理由は、「①両親の庇護からの解放、②世界観の拡大、③克己」とのこと。当然の両親の反対を押し切り「世界一物価の高い日本」にやって来た。日本での生活で困ったことは、「①日本語があまり話せなかったこと、②日本料理が合わず特に「生もの」「味噌汁」に苦戦したこと、③友達が少なく「ひとり」が寂しかったこと、④仕事探しが大変だったこと。」また、病気と交通事故で大変な目に遭ってしまったとのこと。日本での大きな出来事は、「①大学修士合格日に中国のおばあさんが亡くなったこと、②米山奨学生に合格したこと。」で「奨学金のおかげでしっかり勉強に時間をとることができるようになった。また、休みに中国に帰ることができるようになった。」とのこと、「9月に中国に帰って2年ぶりに両親に会うことができロータリーに感謝している。」と。

最後に「中国は現在排気ガスで環境が悪くなっているので、「環境ネットワーク」を構築し、環境改善に取り組みたい。」「みんなの力で世界をきれいにしよう!」と語った。

ニコニコBOX

人数

25人

金額

55,000円

- ◎矢崎敏臣会長 昨日行なわれましたゴルフ大会にて、スコアはメチャメチャでしたが、夢カンしゃくなげの2番でイーグルができました。
- ◎藤澤武則会員 記念旅行の際、皆様のご協力に感謝いたします。
- ◎五味徳雄会員 県特産展で「農林水産大臣賞」をいただきました。
- ◎藤本総会員 良いお天気が続いています。
- ◎真道弘雄会員 11月3日結婚記念日、お花ありがとうございました。
- ◎田中淳喜会員 ついに「60歳」になりました。悲しいしいー。
- ◎竹村一男会員 11月8日、一人娘の結婚式があります。涙が枯れない程度で済みますでしょうか?泣くんどううなあ!
- ◎北原享会員 王くんも頑張っています。よろしくお祈りします。

出席報告

会員数 57名
出席 43名
出席率 76%